

高山労働基準監督署発表
令和6年11月18日(月)

担当	高山労働基準監督署
	安全衛生課長 林 裕也 (はやし ゆうや)
	電話 0577-32-1180
	夜間 0577-32-7891

「令和6年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト」の実施について ～路面の凍結による転倒災害等の防止に向けて～

高山労働基準監督署(署長 永田陽一)は、管内(高山市、下呂市、飛騨市、大野郡白川村)において、令和6年12月1日から令和7年3月31日までの間、冬季に特有の労働災害を防止するため「令和6年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト」を実施します。

災害発生状況のポイント

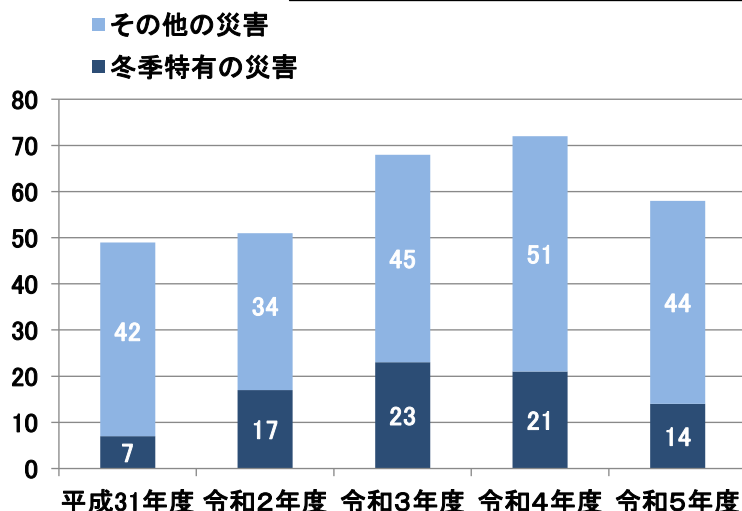
- 令和元年度から令和5年度の5か年の冬季(12月1日～3月31日)において、休業4日以上の労働災害は298件発生している。
- この内、冬季に特有の労働災害は82件(27.5%)発生している。その内訳は、路面の凍結等による転倒災害が61件(74.4%)と最も多く発生しており、屋根の雪下ろし時における墜落・転落災害が10件(12.2%)、車やオートバイのスリップ等による交通事故が4件(4.9%)発生している。また、除雪作業用重機の転落災害、燃焼式暖房器具使用時による一酸化炭素中毒などの労働災害も発生している。

上記の労働災害発生状況を踏まえ、当署では標記プロジェクトを実施し、冬季労働災害防止に向けて、下記実施事項について重点的に取り組みます。

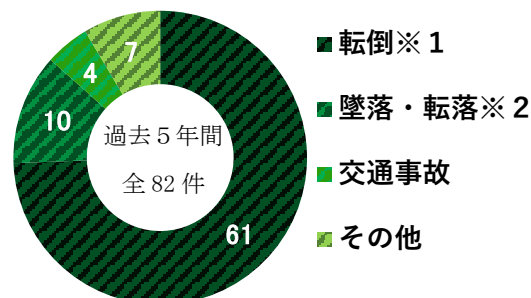
【STOP!冬季労働災害プロジェクトの実施事項(概要)】

- ① 事業場に対する各種指導時における呼びかけと事業場における取組事例の収集
- ② 冬季労働災害の防止に関する講習会の開催
- ③ 労働災害防止関係団体や事業者団体への周知
- ④ 岐阜労働局ホームページでの呼びかけ

高山労働基準監督署管内の労働災害発生状況



冬季特有災害事故の型



※1：路面の凍結等によるもの

※2：屋根の雪下ろし等によるもの

「令和6年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト」実施要綱

高山労働基準監督署

1 趣旨

飛騨地区では、冬季の厳しい気象条件の影響を受け、積雪・凍結・寒冷に起因した冬季特有の災害が多発している。令和元年度から令和5年度の5か年の冬季(12月1日～3月31日)において、休業4日以上労働災害が298件発生(新型コロナウイルス感染症を除く)したが、そのうち、冬季特有の労働災害は82件(27.5%)となっている。その災害の内訳は、路面の凍結等による転倒災害が61件(74.4%)と最も多く、手足の骨折等を伴う重傷災害が多くなっている。続いて、屋根の雪下ろし時等における墜落・転落災害が10件(12.2%)、車やオートバイのスリップ等による交通事故が4件(4.9%)発生した。また、全国的に見ると、除雪作業用重機の転落災害、燃烧式暖房器具使用時による一酸化炭素中毒などの労働災害も散見される。

今季も同様に冬季特有の労働災害の発生が懸念されることから、「令和6年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト」を実施し、下記5の協力者と連携のうえ事業場に対し労働災害防止のため積極的な取組を行うよう要請する。

2 重点目標

積雪・凍結・寒冷に起因した冬季特有の転倒災害、墜落・転落災害、交通事故、重機による災害及び一酸化炭素中毒の防止

3 実施期間

令和6年12月1日から令和7年3月31日

4 主唱者

高山労働基準監督署

5 協力者

高山公共職業安定所、労働災害防止関係団体、事業者団体、地方自治体等、本要綱の趣旨に賛同する団体又は機関

6 実施者

各事業者

7 主唱者の実施事項

- (1) 冬季労働災害の防止に関する講習会の開催
- (2) 冬季労働災害の防止に関する推進リーフレットの作成
- (3) 事業場に対する冬季労働災害防止対策の実施についての指導
- (4) 各種媒体による広報の実施

8 協力者への依頼

主唱者は、本プロジェクトの実施を広く周知するため、協力者に対し、主唱者が作成する推進リーフレットを窓口にて事業場に配布する等の協力を依頼する。

9 実施者の実施事項

(1) 転倒災害防止対策

- ① 段差・凹凸・突起物・継ぎ目等の躓く原因の改善
- ② 労働者から転倒の危険を感じた場所の情報集計に基づくマップ作成等による、安全な通路と危険個所の周知
- ③ 融雪剤や砂の散布、温風機やヒートマットの設置等の凍結防止対策の実施
- ④ 夜間の照明設置による明るさの確保
- ⑤ 保温性が高く、滑りにくい靴（スパイク付長靴等）の使用
- ⑥ 屋内に入る場合の、靴に付着した雪、水分の除去
- ⑦ 自動車から降りる際の、降車場所の路面状況の確認
- ⑧ 小さな歩幅で靴の裏全体をつけたゆっくり歩行
- ⑨ 両手を空け、服やズボンのポケットに手を入れない歩行

(2) 墜落・転落災害防止対策

- ① 除雪する屋根の形状・材質及び雪庇の状況の確認
- ② 親綱等の墜落制止用器具取付設備の設置、墜落制止用器具及びヘルメットの着用
- ③ 足場を組んで作業を行う際の、作業開始前の足場板上の除雪、手すり等の墜落防止措置の実施
- ④ 移動はしごを使用する際の転移防止措置（脚部・上部の固定、上端の 60 cm以上突き出し）の実施
- ⑤ 屋根の上部から下部への落雪、落雪場所の立入禁止
- ⑥ 2人以上での作業、複数作業時は上下作業の禁止
- ⑦ 明り取り用窓の位置確認による踏み抜き防止措置の実施

(3) 交通事故防止対策

- ① 冬用タイヤの着用、タイヤ摩耗の有無の点検、交換
- ② 過去の災害事例を参考とした「交通安全情報マップ」の作成による事故多発区域の周知
- ③ 運転前の交通状況の入手、余裕をもった早めの出発
- ④ 法定速度の遵守、路面状況等に合わせた速度での運転
- ⑤ 急ブレーキ・急アクセル・急発信・急加速の禁止
- ⑥ 早めのライト点灯、通常時より長めの車間距離の確保
- ⑦ 降雪・積雪により視野が狭くなることを前提とした危険予知の実施
- ⑧ 吹雪等に遭遇時の、ハザードランプの点滅による他車への周知、安全な場所へ退避

(4) 重機による災害防止対策

- ① 作業開始前の機械に付着した氷塊の除去、ワイパーやウインドーガラスの熱線等の性能の確認
- ② 接触防止のための危険箇所の標示、人の立入禁止
- ③ 標識やポール等の設置による路肩位置の表示、誘導者の配置

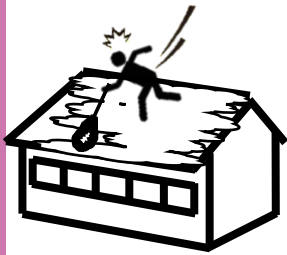
- ④ 誘導者その他作業員の蛍光ベストやヘッドライト等の着用
 - ⑤ 作業位置・識別しやすい合図方法の事前の決定、重機の作業範囲外での誘導
 - ⑥ 斜面等の下方での作業時の過去の雪崩発生の前調査、作業の中止や避難場所の確保
- (5) 一酸化炭素中毒防止対策
- ① 一酸化炭素中毒の危険性・呼吸用保護具の使用方法・換気方法・緊急時の対応等についての、関係労働者への教育の実施
 - ② 危険箇所への立入禁止の表示
 - ③ 自然換気の悪い場所でのエンジンや練炭等の使用禁止、やむを得ず使用する場合は、換気装置等の設置・稼働
 - ④ 十分な換気ができない箇所へ立ち入る場合は、適切な呼吸用保護具(送気マスクエアライン式呼吸用保護具等)の選定・使用
 - ⑤ 燃焼式の暖房器具を使用する場合は定期的な換気、屋外の排煙設備の点検

令和6年度

STOP! 冬季労働災害プロジェクト

実施期間 令和6年12月1日 ▶ 令和7年3月31日

転倒災害



交通事故



一酸化炭素
中毒

墜落・転落
災害



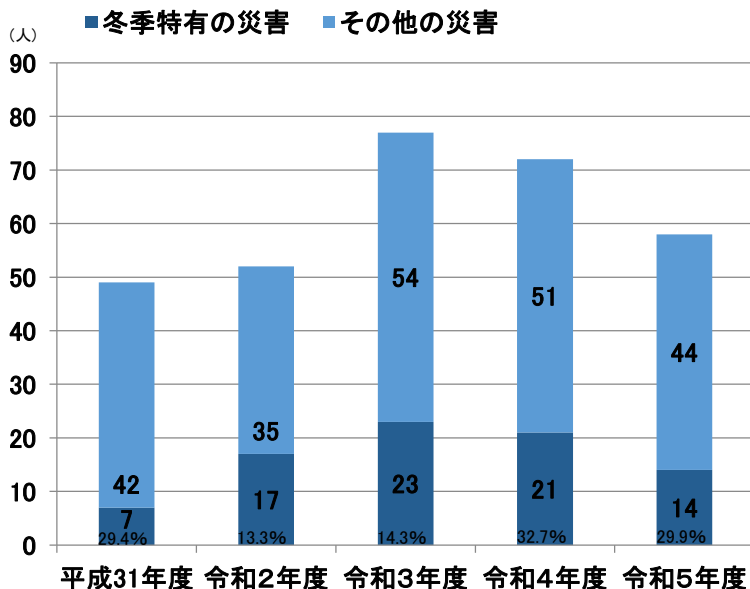
重機災害



積雪寒冷地である飛騨地域においては、12月～3月の冬季期間中、凍結等による転倒、雪下ろし作業時の墜落、自動車のスリップ等による交通事故、除雪作業に伴う重機災害、屋内でのヒーター等の使用による一酸化炭素中毒等、冬季特有の労働災害が発生しています。

このため、高山労働基準監督署では、これら冬季特有の労働災害の防止に向けて、「令和6年度 STOP! 冬季労働災害プロジェクト」を実施します。各事業場は、本リーフレットの災害事例やチェックリストを参考に労働災害防止のため取組をお願いします。

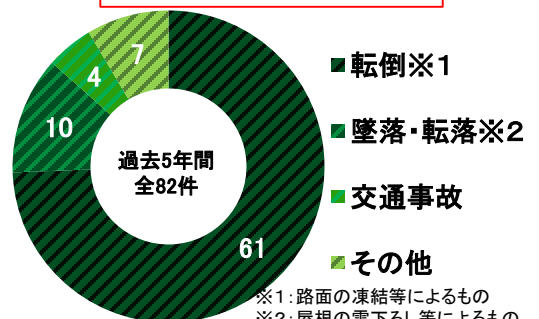
冬季期間(12月～3月)の労働災害発生状況



高山労働基準監督署管内において、過去5年間の冬季(12月～3月)に発生した休業4日以上の災害のうち、冬季特有の災害は**27.5%**を占めています。

さらに、冬季特有の災害のうち、転倒災害が**74.4%**を占めています。

冬季特有の災害事故の型



※1: 路面の凍結等によるもの
※2: 屋根の雪下ろし等によるもの

転倒災害	災害事例	材料をトラックに運んでいる際、地面が凍結しており転倒
災害発生状況		
トラックに資材を積込むため、 <u>両手に建設用の道具を持って運んでいたところ、地面が凍結しており、転倒。</u> 左ひじを強打した		
傷病部位	ひじ	
傷病名	脱臼	
休業見込期間	1週間	

☑ 転倒災害防止対策をチェック！

<input type="checkbox"/>	1	段差・凹凸・突起物・継ぎ目等の躓く原因を取り除きましょう
<input type="checkbox"/>	2	労働者から転倒の危険を感じた場所の情報収集に基づくマップ作成等により、安全な通路と危険個所の周知しましょう
<input type="checkbox"/>	3	融雪剤や砂の散布、温風機やヒートマットの設置等の凍結防止対策を実施しましょう
<input type="checkbox"/>	4	夜間の暗い箇所に照明を設置し、明るさを確保しましょう
<input type="checkbox"/>	5	保温性が高く、滑りにくい靴(スパイク付長靴等)を使用していますか
<input type="checkbox"/>	6	屋内に入る際に、靴に付着した雪や水分を除去していますか
<input type="checkbox"/>	7	自動車から降りる際に、降車場所の路面状況を確認していますか
<input type="checkbox"/>	8	小さな歩幅でゆっくりと、靴の裏全体をつけて歩行していますか
<input type="checkbox"/>	9	服やズボンのポケットに手を入れず、両手を空けて歩行していますか

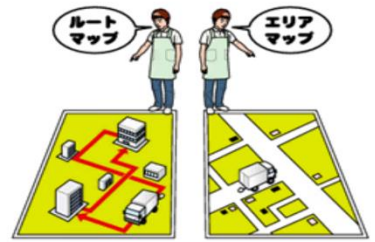
墜落・転落災害	災害事例	倉庫に立てかけたはしごがずれ、はしご上から墜落
災害発生状況		
倉庫の屋根上の雪下ろしのため、 <u>はしごを固定しないまま倉庫に立てかけ、はしごを上っていたところ、はしごがずれ、はしご上から墜落した。</u>		
傷病部位	頭部	
傷病名	打撲	
休業見込期間	6か月	

☑ 墜落・転落災害防止対策をチェック！

<input type="checkbox"/>	1	雪下ろし等の墜落・転落のおそれのある作業を行う際は、作業前に除雪する屋根の形状・材質及び雪庇の状況を確認しましょう
<input type="checkbox"/>	2	親綱等の墜落制止用器具取付設備を設置し、墜落制止用器具及びヘルメットを使用しましょう
<input type="checkbox"/>	3	足場で作業を行う際は、作業前に足場板上の除雪や、手すり等の墜落防止措置を実施しましょう
<input type="checkbox"/>	4	移動はしごには転移防止措置(脚部・上部の固定、上端の60cm以上突き出し)を実施しましょう
<input type="checkbox"/>	5	屋根の上部から下部へ除雪し、落雪場所は立入禁止としましょう
<input type="checkbox"/>	6	2人以上での作業を原則とし、複数名で作業時は上下作業を禁止しましょう
<input type="checkbox"/>	7	明り取り用窓がある際は、事前に位置確認し踏み抜き防止措置を実施しましょう

☑ 交通事故防止対策をチェック！

<input type="checkbox"/>	1	冬用タイヤを着用し、タイヤ摩耗の有無の点検、交換を適切に行いましょう
<input type="checkbox"/>	2	過去の災害事例を参考とした「交通安全情報マップ」を作成し、事故多発区域を周知しましょう
<input type="checkbox"/>	3	運転前に交通状況入手し、余裕をもって早めに出発しましょう
<input type="checkbox"/>	4	法定速度を遵守したうえ、路面状況等に合わせた速度で運転しましょう
<input type="checkbox"/>	5	急ブレーキ・急アクセル・急発信・急加速は禁止しましょう
<input type="checkbox"/>	6	早めにライトを点灯し、通常時より長めに車間距離を確保しましょう
<input type="checkbox"/>	7	降雪・積雪により視野が狭くなることを前提とした危険予知を行いましょう
<input type="checkbox"/>	8	吹雪等に遭遇した際は、ハザードランプを点滅し安全な場所へ退避しましょう

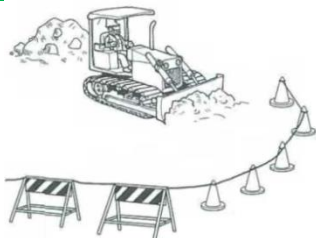


交通安全情報マップ



危険予知

☑ 重機災害防止対策をチェック！



立入禁止措置



視認性の高い装備

<input type="checkbox"/>	1	作業前に機械に付着した雪や氷塊を除去し、ワイパーやウインドーガラスの熱線等の性能を確認しましょう
<input type="checkbox"/>	2	周囲の人との接触防止のため、危険箇所を標示して人の立入を禁止しましょう
<input type="checkbox"/>	3	路肩を走行する際は、ポール等により路肩位置を表示し、誘導者を配置しましょう
<input type="checkbox"/>	4	誘導者その他作業員は蛍光ベストやヘッドライト等を着用しましょう
<input type="checkbox"/>	5	識別しやすい合図方法を事前に決定し、重機の作業範囲外で誘導しましょう
<input type="checkbox"/>	6	山中での作業時は、過去の雪崩発生状況を確認し、作業中止基準や緊急避難場所を定めましょう

☑ 一酸化炭素中毒防止対策をチェック！

<input type="checkbox"/>	1	一酸化炭素中毒の危険性・呼吸用保護具の使用方法・換気方法・緊急時の対応等について、関係労働者へ教育を行いましょう
<input type="checkbox"/>	2	作業前に酸欠の危険のある箇所を特定し、立入禁止としましょう
<input type="checkbox"/>	3	自然換気の悪い場所ではエンジンや練炭等は原則使用禁止とし、やむを得ず使用する場合は換気装置等を設置し確実に稼働させましょう
<input type="checkbox"/>	4	十分な換気ができない箇所へ立ち入る場合は、適切な呼吸用保護具(送気マスクエアライン式呼吸用保護具等)を使用しましょう
<input type="checkbox"/>	5	燃焼式の暖房器具を使用する際は、定期的に換気し屋外の排煙設備を点検しましょう



換気の効果を確認



呼吸用保護具

飛騨地域の冬季労働災害対策

令和5年度 STOP! 冬季労働災害プロジェクトにおいて、管内事業場より応募いただいた取組事例の一部をご紹介します

事業場名
(所在地)

日本郵便株式会社 萩原郵便局
(岐阜県下呂市萩原町萩原1296-8)

業種

郵便局

冬季安全対策及びアプリによる急加速・急減速の管理

①冬季安全対策

バイクによる配達となるため、スタッドレスタイヤへの履き替え、チェーンの装着を行っている。

【スタッドレスタイヤ】



【チェーン装着時】

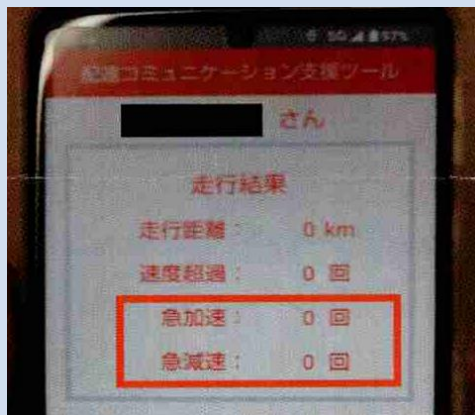


取組内容
取組効果

など

②アプリによる急加速、急減速の管理

スマートフォンを配達員に携行させ、JR独自のアプリにより「急加速」「急減速」の回数を把握し、交通事故防止に向けた指導に活用している。



ご応募誠にありがとうございました

令和6年度冬季労働災害プロジェクトにおきましても取組事例を募集いたします。詳細は高山労働基準監督署 安全衛生課(0577-32-1180)までご連絡いただくか、岐阜労働局HPをご参照ください。

高山労基署 最新情報

検索

「令和6年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト」取組事例募集要綱

高山労働基準監督署

1 募集概要

令和6年 12 月1日から令和7年3月 31 日の期間中、高山労働基準監督署で実施する「令和6年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト」の一環として、冬季特有の労働災害に対する取組事例を募集します。

また、好事例については、岐阜労働局の HP に載せるとともに翌年度のリーフレット等に活用させていただきます。

2 募集対象

以下に記した冬季特有の労働災害の防止を目的とした取組事例、その効果又は労働者からの意見等を募集対象とします。

- ア 積雪・地面の凍結等による転倒災害
- イ 屋根の雪下ろし時等における墜落・転落災害
- ウ 降雪・積雪による視界不良や、路面の凍結等による交通事故
- エ 視界不良による接触や、路肩からの転落等の重機による災害
- オ ストーブ使用時等の一酸化炭素中毒
- カ その他(安全管理体制の充実、協議組織の設置等)

3 募集期間

令和6年 12 月1日から令和7年3月 31 日まで

4 報告方法

次頁の記載例を参考に、別紙の報告様式に必要事項を記入し、当署担当部署あてにeメール、FAX 又は郵送にてご提出ください。

担当

高山労働基準監督署 安全衛生課 浅野

〒506-0009 高山市花岡町3-6-6

eメール: takayama-annei@mhlw.go.jp

TEL: 0577-32-1180 FAX: 0577-32-1274

令和6年度 STOP！冬季労働災害プロジェクト 取組事例報告様式

事業場名 工事名	株式会社〇〇〇〇 〇〇店	所在地	〒5XX-XXXX 高山市××町××-×
代表者職氏名	代表取締役 △△ △△		TEL 05XX-XX-XXXX
業種	□□業	労働者数	◇名
該当する対策の種類			左から選んで記入してください
ア 転倒 イ 墜落・転落 ウ 交通事故 エ 重機 オ 一酸化炭素中毒 カ その他			イ
取組内容 取組効果 など	タイトル(任意) <u>冬季安全対策</u> (取組内容) ・雪下ろし、除雪、高所作業等における安全作業手順書の策定 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>安全作業手順書</p> <p>【雪下ろし・除雪・高所作業等における安全作業手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雪下ろし・除雪・高所作業等は危険を伴う作業の為、必ず2名以上の体制で行う事。 2. 雪下ろし作業での高所への登り降りの際、地面が凍結している危険性もあり安定性の高い脚立等を使用し、移動はしごの使用は原則禁止とする。 3. 高所への登り降りの脚立使用の際は、必ず1名が下で支え固定する事。 4. 高所への登り降りの際は必ず、ヘルメット・滑り止め軍手等の保護具の着用。 5. 脚立での登り降りの際は片手にスコップ等を持たず、必ず両手を使用。 6. 万一の事を考え、地面を除雪した後に高所での雪下ろしは禁止とする。 7. 雪下ろし・除雪・高所作業等を行う際は、必ず管理責任者に作業内容・作業人員・作業時間等を報告し許可を取り作業を開始する事。 <p>※上記の手順に基づいた作業を厳守・徹底し安全な作業に取り組む事。</p> </div>		
※上記取組内容は、「令和5年度 STOP！冬季労働災害プロジェクト」において、 飛騨銘水株式会社 ミネラルウォーター丹生川工場 様より応募いただいた取組事例です。 ※なるべく写真や絵などイメージできるものもあわせて記載してください。			
ご担当者様 職氏名 連絡先	▼▼課 ▼▼ ▼▼ TEL 05XX-XX-XXXX FAX 05XX-XX-XXXX Mail XXXXXXXX@XXX.co.jp		

※ 報告様式の枠の大きさは必要に応じて拡張・縮小してください。

令和6年度 STOP！冬季労働災害プロジェクト 取組事例報告様式

事業場名 工事名		所在地	
代表者職氏名			
業種		労働者数	
該当する対策の種類			左から選んで記入してください
ア 転倒 イ 墜落・転落 ウ 交通事故 エ 重機 オ 一酸化炭素中毒 カ その他			
取組内容 取組効果 など	タイトル(任意) _____		
	<p style="text-align: right;">※なるべく写真や絵などイメージできるものもあわせて記載してください。</p>		
ご担当者様 職氏名 連絡先			

※ 報告様式の枠の大きさは、必要に応じて拡張・縮小してください。